

秋田の土地改良

7

2010・JUL



みどり
水土里ネット秋田

目次

「食」と「地域」の再生に向けた農業農村整備予算の確保を求める集会…	2	第8回水土里のみちウォーキングin仁井田walk ……………	7
秋田県土地改良事業団体職員会第50回通常総会&創立50周年記念式典…	3	特集：農業水利施設内の「ゴミ」問題(シリーズ②) ……………	8
平成22年度水土里ネット広報キャラバン ……………	4	富根地区(切石工区)県営経営体育成基盤整備事業竣工 ……………	11
秋田県農地集団化推進協議会第50回通常総会 ……………	5	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会第50回通常総会 ……	12
平成22年度秋田県耕作放棄地対策協議会第1回通常総会 ……	5	連合会日誌 ……………	12
水土里ネット支援事業(土地改良区維持管理計画書作成支援) ……	6	会員だより・インフォメーション ……………	13

「食」と「地域」の再生に向けた 農業農村整備予算の確保を求める集会！

全国の関係者約700名が参加

「食」と「地域」の再生に向けた農業農村整備予算の確保を求める集会が6月7日、ニッショーホール（東京都港区虎ノ門）で開催された。

この集会は、全国の農業者、農業農村の将来を心配する有識者、市町村長、水土里ネット関係者 66 名が呼びかけたもので、全国から約 700 名が駆けつけた。



▲呼びかけ人代表挨拶

集会では、呼びかけ人を代表して、水土里ネットほっかいの眞野弘理事長が「22年度予算をはじめ、農業農村整備の厳しい状況を打破するには、各地域の声を大きなうねりとして、全国の総力を結集することが必要である。我が国の農業農村が持続的に発展し、農業者が意欲を持って営農を実現し、地域住民が将来に明るい展望を持てる環境をつくり出すためにも、「食」と「地域」の再生に向け、私たちの活動に賛同いただき、22年度補正と23年度予算の確保を求め、政権与党をはじめ関係要所に訴えていこうではありませんか」と挨拶。続いて、全国水土里ネットの野中広務会長が激励の挨拶にたった。



▲「ガンバロウ！」三唱

また、水土里ネット秋田（報告者：水戸常務理事）をはじめ、明治用水土地改良区、大井川土地改良区、新潟県などから予算削減の影響や現状を踏まえた取り組みが報告された。続いて、集会の名において行う決議文案が大分県杵築市の八坂市長より読み上げられ、満場一致で採択、最後に水土里ネット豊田の吉本理事長の音頭で「ガンバロウ！」を三唱して集会を締めくくった。

集会終了後、参加者は農業農村整備予算の確保について、財務省、総務省、農林水産省、民主党及び地元選出の国会議員に対し要請活動を行った。

秋田県土地改良事業団体職員会

第50回通常総会を開催

6月25日、秋田市の秋田キャッスルホテルで、秋田県土地改良事業団体職員会(鈴木英弘会長)の第50回通常総会が開催され、「21世紀土地改良区創造運動の推進及び土地改良区の役割に関する啓発」、「農業水利施設内の「ゴミ」実態調査に関する協力」など、本年度の事業計画などを決めた。

同職員会は、会員の事務・技術能力の向上等を目的に、昭和36年に設立され、現在の会員数は、106団体の328名となっている。



総会は、鈴木会長の挨拶に続き、功労者7名の表彰が行われた。

さらに、本会黒子専務の来賓祝辞の後に、「平成22年度収支予算書について」等、7件の提出議案についての審議が行われ、いずれも原案通りに可決された。



▲鈴木会長による挨拶

■ 功労者表彰

- 石山 丸子 (二ツ井町土地改良区)
- 児玉 俊一 (三種町鶴川土地改良区)
- 戸井田 寿幸 (河辺土地改良区)
- 岡部 広樹 (仁井田堰土地改良区)
- 鈴木 龍一 (潟上市天王土地改良区)
- 藤川 博栄 (秋田県田沢疏水土地改良区)
- 三浦 桂子 (横手市沼館土地改良区)



創立50周年記念式典を開催

同ホテルに於いて、通常総会終了後に開催された「創立50周年記念式典」では、鈴木会長の式辞、本会高員会長の来賓祝辞に続き、式典に際して編集した「50年の歩み」の放映、黒崎一紀氏(秋田椿台エフエム放送株式会社代表取締役)による「聞くラジオから出るラジオ～自分の言葉で伝えよう～」と題した記念講演などが行われた。



▲記念講演を行う黒崎氏

平成22年度

水土里ネット広報キャラバンを各支部で開催!!

平成22年度水土里ネット広報キャラバンが6月22日の山本支部を皮切りに8会場で開催された。

キャラバンは、会員に最新の情報を提供し、農業農村整備事業の推進に活用頂くとともに会員の意見・要望をくみ取り、本会の業務運営に反映させるため平成18年度から実施しています。

今年度は特に、国の22年度農業農村整備事業関係予算が対前年比3割ほどとなったことから、農業・農村を取り巻く状況は一段と厳しいものとなってきており、更なる経費の削減や技術力の向上を図り、本会の持っているノウハウや技

術力を十分に発揮し、会員の負託に応えることが求められております。

会場では、新たな支援（「ゴミ」問題調査・研究）や水土里情報システムなどに関心が寄せられ多くの質問や意見が交わされた。

【情報提供】

1. 水土里ネットへの新たな支援について（「ゴミ」問題調査・研究）
2. 水土里情報システムの活用について
3. 水土里マネジメント事業について
4. 小水力発電部門の業務について



▲由利支部（6月30日）



▲秋田支部（7月2日）

【開催状況】

支部別	開催日	参加者	開催場所
鹿角	6月24日	21人	鹿角市山村開発センター
大館・北秋田	6月29日	35人	北秋田市交流センター
山本	6月22日	73人	シャインプラザ平安閣能代
秋田	7月2日	50人	イヤタカ
由利	6月30日	69人	本荘グランドホテル
仙北	7月8日	86人	大曲エンパイヤホテル
平鹿	7月1日	37人	松與会館
雄勝	7月12日	56人	湯沢グランドホテル